

## 消防団の主な活動

### ▶出初式（1月）

消防ポンプ車の一斉放水や分列行進、消防鷹隊「つるが鷹」のはしご乗り演技などを披露します。（写真①）



### ▶文化財火災防ぎょ訓練（1月）

消防署と消防団の合同訓練を実施しています。



### ▶春季・秋季火災予防運動

（3月、11月）

火災予防週間に合わせ打鐘巡回、高齢者宅への防火診断などを実施しています。（写真②）



### ▶新任者教養訓練（4月）

新しく入団した団員に規律・器具取扱い訓練を実施しています。

### ▶消防大会（5月）

消防ポンプ車の一斉放水や分列行進などを披露します。（写真③）



### ▶水防訓練（6月）

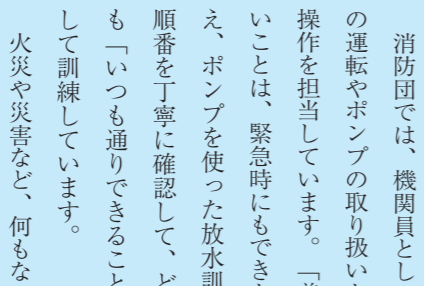
梅雨の季節を前に水防工法の技術・知識を習得するための訓練を実施しています。（写真④）

### ▶敦賀まつり（9月）

「つるが鷹」がはしご乗り演技を披露します。

### ▶歳末特別警戒（12月）

12月29、30日の夜間、器具置き場を拠点に警戒に当たります。



③教育・訓練  
冷静に確実な消火活動や救助活動ができるよう、平常時に

### ②地域の防災活動

火災を未然に防ぐため、警鐘を鳴らしながらの消防車での巡回や、花火大会、地域のイベントでの警戒などの活動を行っています。

は消火訓練や水防訓練、応急手当の普及指導などを行っています。消防団は、チームワークが大切であり、団員同士が連携することによって効果的な消防活動につながります。そのため、日頃から教育・訓練などを通して交流を深めています。

### あなたの力を消防団に

まちの安全・安心のために一緒に活動していただける団員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

### 資格

市内在住か市内に通学、通勤している18歳以上の方

### 問合せ先

敦賀消防署 ☎23・9991

### 地域のために何かできれば

#### 敦賀消防団愛発分団第1部

やまきま たけひろ  
山崎 雄大さん

子どもの頃から「カンカン」と警鐘を鳴らして地区を走る消防車を見ていて、いずれは自分も入りたいと思っていました。地元に戻ってきて、知人も少ない状況の時に消防団に誘っていただいたので、地域の方と交流を深めるきっかけになりました。

消防団では、機関員として消防車の運転やポンプの取り扱いなど、機械操作を担当しています。「普段できないことは、緊急時にもできない」と考え、ポンプを使った放水訓練でも、順番を丁寧に確認して、どんな時でも「いつも通りできること」を意識して訓練しています。

火災や災害など、何もないことが一番いいんですけど、何か起こったときには「地域のために何かできれば」という気持ちで活動しています。



▲愛発分団が日曜日の夕方に定期的に行っている放水訓練の様子

# 地域を守る 敦賀消防団



地域の消防防災リーダーとして地域に密着し、家族や地域の皆さんの安心と安全を守る役割を担う敦賀消防団。団員はそれぞれ自分の仕事を持ちながら、地域で消防活動を行っています。

今回は、地域を守る消防団の活動を紹介します。

### 消防団って？

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代將軍吉宗が町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団のルーツだといわれています。

現在、消防団は消防本部や消防署と同じく、消防組織法に基づいて市町村に設置される消防機関であり、消防団員は非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員は、消防署に勤務する消防職員とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場

### ■敦賀消防団の構成

敦賀消防団（8分団2班）	気比分団
	松原分団
	西浦分団
	東浦分団
	東郷分団
	中郷分団
	愛発分団
	粟野分団
	女性活動班
	機能別班 (学生団員)

から現場へ駆けつけ、災害現場で消防署と協力して消火活動などに当たります。

地域に密着した存在であるからこそ、自分たちの地域の特性や危険箇所などをよく知り、小さな状況の変化に気付くことができるなど、効果的な消火活動などができます。

敦賀消防団には8分団2班287人の団員が在籍し、地域の防災力向上と安心安全を守るため、日々活動しています。

### 消防団の活動

消防団では主に3つの活動を行っています。

#### ①災害時の活動

火災発生時の消火活動や台風などの自然災害時の避難誘導や警戒巡視などを行います。